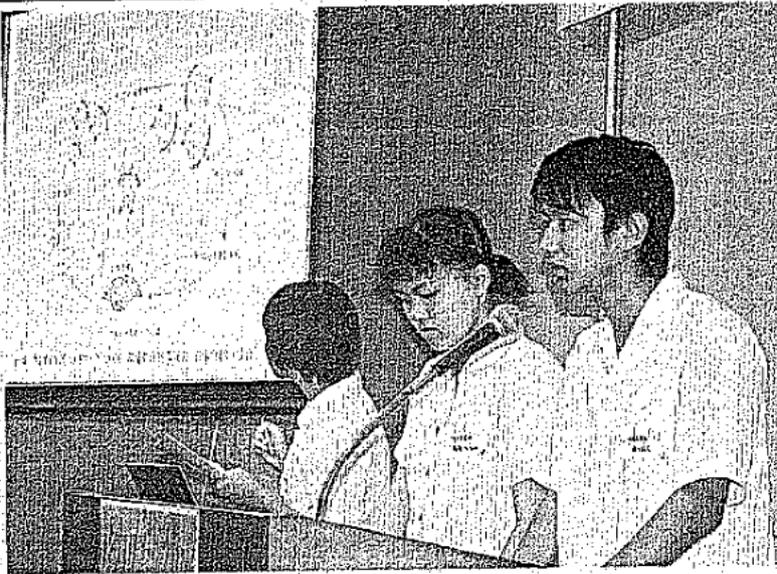


アカウミガメの環境調査

「自販機に対策を」

と大 高市 田都 下東



アカウミガメの共同調査について報告する下田高の生徒＝下田市民文化会館

東京都大と県立下田高は2日夜、下田市内で行ったアカウミガメの共同調査の報告会を下田市民文化会館で開いた。産卵地保全に向けた砂浜の環境調査の結果、「自動販売機などに対策を施せば、産卵地としての適性が著しく高まる」と訴えた。

多々戸浜の環境状況を調べた。主な調査対象は植生、照度、人工物の有無、砂中深度、砂浜の奥行きの5項目。西砂浜とも自動販売機や外灯などが近くにあり、親ガメや稚ガメを誤誘導してしまう可能性を指摘した。

東京都大は下田市内で夏合宿を行っている環境学部の学生が2011年から、アカウミガメの環境調査に取り組んでいる。今夏は地元の下田高にも参加を呼び掛け、共同調査を実施した。

(下田支局・杉山諭)